

平成30年度病害虫発生予察指導情報  
対象病害虫：ナシ黒斑病

平成30年6月25日  
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒斑病の新梢葉の発病状況(平成30年)

地 区	新 梢 葉 の 発 病 率 <sup>1)</sup> (%)								
	6 月			7 月			9 月		
	本 年	前 年	平 年 <sup>2)</sup>	本 年	前 年	平 年	本 年	前 年	平 年
河原町	8.4	4.1	1.1 <sup>3)</sup>						
佐治町	19.0	3.7	0.8						
青谷町	9.4	20.8	6.9						
八頭町	2.4	0	0.2						
湯梨浜町 (別所)	2.0	6.1	1.2						
湯梨浜町 (勝負谷)	0	0	0.9						
関金町	0	0.6	0.4						
北栄町 (園試)	3.8	2.6	2.1						
琴浦町	1.0	3.0	0.7						
大山町 (中山)	0	0	0.3						
大山町 (名和)	2.3	0.6	0.8						
南部町	0.5	0.6	0.4						
平 均	4.1	3.5	1.3						

(注)

<sup>1)</sup> 1園当たり10新梢について全葉数及び病葉数を調査

<sup>2)</sup> 平成20～29年の平均値

<sup>3)</sup> 平成22～29年の平均値

<要約>

新梢葉における発病率は4.1% (平年3.5%) と平年に比べて高かった。

<対策>

今後、発病の多い園では、降雨が多い場合には慣行防除に加えて追加防除を検討する。防除薬剤には、有機銅水和剤 (キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル)、アリエッティC水和剤、ベルコートフロアブルなどがある。

平成30年度病害虫発生予察指導情報  
対象病害虫：ナシ黒斑病

平成30年6月25日  
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒斑病の果実における発病率（平成30年）

地 区	ポリ袋検定法による			被袋果実の発病率 <sup>2)</sup> (%)					
	幼果の発病率 <sup>1)</sup> (%)			6 月			7 月		
	本年	前年	平年 <sup>3)</sup>	本年	前年	平年 <sup>3)</sup>	本年	前年	平年
河原町	2.0	1.7	0.2 <sup>4)</sup>	18.3	0	0.2 <sup>4)</sup>			
佐治町	6.0	3.5	0.7	13.3	5.0	0.7			
青谷町	4.0	4.2	7.4	36.7	10.0	7.4			
八頭町	0	1.7	0.4	0	0	0.4			
湯梨浜町 (別所)	2.0	0	0.2	0	0	0.2			
湯梨浜町 (勝負谷)	2.0	2.6	0.2	0	1.7	0.2			
関金町	1.0	2.5	0.4	1.7	0	0.4			
北栄町 (園試)	2.0	1.7	3.0	0	3.3	3.0			
琴浦町	4.0	0.8	0.6	0	0	0.6			
大山町 (中山)	1.0	3.3	0.2	3.3	0	0.2			
大山町 (名和)	2.0	4.5	0.4	5.0	0	0.4			
南部町	1.0	0.9	0.2	0	0	0.2			
平均	2.3	2.3	1.2	6.5	1.7	1.2			

(注)

<sup>1)</sup> 1園当り100果について調査(試料採取：4月21, 22, 24日, 25日、採集後23℃に3日間静置後、発病率調査)

<sup>2)</sup> 1園当り60果について調査(調査日：6月12, 13, 14日)

<sup>3)</sup> 平成20～29年の平均値

<sup>4)</sup> 平成22～29年の平均値

<要約>

被袋果実の発病率は6.5% (平年：1.7%) と平年に比べて高かった。